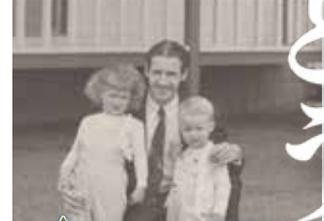
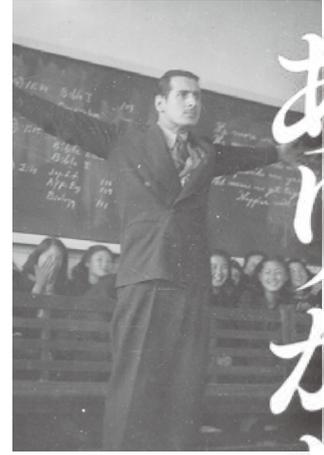


茨城キリスト教大学大学院 / 茨城キリスト教大学
茨城キリスト教学園高等学校 / 茨城キリスト教学園中学校
茨城キリスト教大学附属認定こども園(みらい園・せいじ園)

発行日 2023.05.19.FRI
編集・発行: 法人事務局学園広報

バックナンバーも含めて
学園HPでご覧いただけます →



ありがとう

LOGAN J. FOX

私たち茨城キリスト教学園の創設当初から中心的な役割を果たし、第2代総長、初代短大学長をつとめ、日本にカウンセリングを紹介した功労者でもあるローガン・J・ファックス先生が3月24日、アメリカで天に召されました。100歳でした。ローガン先生を偲び、先生が私たちに与えてくださったものは何かをたどっていきます。



ローガン・J・ファックスの

軌跡



若き日のローガン

日本生まれ 久慈川育ち

日本で伝道するアメリカ人宣教師の次男として1922年に生まれたローガン。13歳まで福島県棚倉町と茨城県常陸太田市で過ごした。

兄のハリー・ファックスJr.とはひとつ違い。ふたりは戦後、地元のクリスチャンと共に茨城キリスト教学園の設立に奔走した。



ファックス一家 ローガン後列左端(1934年)



兄弟たちと(ローガン右から2番目)

学園・短大の設立

ローガンは、キリスト教に基づく全人的な教養主義(リベラルアーツ)教育を掲げ、日本で初めて「短大教養学科」を実現させた。

シオンカレッジ(当時)開学の式辞で、新入生を鼓舞した。

クラーク博士は、Boys, be ambitious. 「少年よ、大志を抱け」と言ったが、私は皆さんに、**Boys, be encouraging.** 「自信を、希望を持とう」というメッセージを贈りたい。

ローガンと時間を共にした人は、彼が学生たちと語り合う姿を多く伝えている。ローガンは戦争後の社会の激動に放り出された若者を励まし、希望を与えてくれたのである。



シオンカレッジ1期生集合写真(1949年)

シオンの丘原風景(1947年)



幻(ビジョン)のない民は滅びる

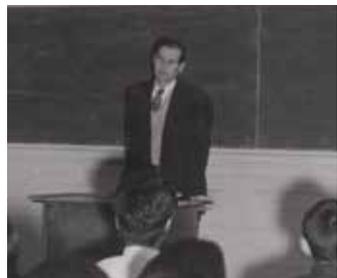
箴言29:18

ローガンは創設間もない原野が広がるキャンパスで、学生たちに

目をつぶってごらん。ほら、見えるだろう。立ち並ぶ校舎、図書館、礼拝堂、グラウンドもある…

と夢を語った。

ローガンのビジョン(幻)はその後、学園の発展とともに現実となった。



授業風景



シオン祭にて

No Rule / ローガンのノー・ルール

ローガンは「ノー・ルール / No Rule」を提唱し、学園の教育で実践した。

真の学びは教えられるものではなく、自由な雰囲気の中で『生徒・学生が自ら学びとること』による。よい学校は、生徒・学生たちが自らを教育して自立できる、ルールのない自由な教育が実践できる場である。

この自由な思想は戦前の教育に馴染んでいた学生たちに新鮮な驚きと喜びをもって迎えられ、学園に澆刺とした雰囲気が満ちていった。



前列左から2番目ローガン

「ノー・ルール」と言われている頃の高校は、生徒たちひとりひとりが自由闊達に行動し活気にあふれていた。誰かが困っていると自然に助け合ったり。本当に澆刺としていて素晴らしい学校だと感じて毎日を過ごしていた。

中村 裕子

法人事務局総務部長(当時:高校生)

証言



カウンセリングの新しい風

ローガンは日本に「カウンセリング」を紹介した功労者としても知られる。

シカゴ大学大学院で、現代カウンセリングの生みの親である恩師カール・ロジャーズと出会い、

「治療者はクライアントの問題解決能力を信頼して、指示も助言も与えずに、最大限の力を発揮できるように温かい環境をつくれればいい」という『来談者中心療法(Person-Centered Therapy)』

に衝撃を受ける。

そこに、人をありのままに受容するキリスト教の愛の精神との共通性を見出したローガンは、日本におけるロジャーズ派カウンセリングの普及に尽力した。14年にわたって開催された講習会は「大甕詣で」と呼ばれ、最先端の技術を学ぼうという第一線の研究者たちがキャンパスを訪れた。その後ロジャーズ来日も実現させたローガンの活動は、「紹介者」にはとどまらなかった。



ローガン左とカールロジャーズ右(1961年)



カウンセリング研究所(1960年竣工)



カウンセリング講習会(1961年8月)



ロジャーズの直弟子がいるということで、戦後新しい理論に飢えていた日本中の心理学者がローガンのもとに殺到し、大きな影響を受けた。日本人気質を知るローガンは、情熱をもって彼らの心に丁寧にカウンセリングの灯をともした。「大甕詣で」を経験した人たちはその後の日本カウンセリング界の中心となっていく。ローガンが普及につとめた「出会い(エンカウンター)」や「対話」「グループワーク」を特徴とするロジャーズのカウンセリングは、21世紀の今も様々な社会インフラの中で生き続けている。

—— 永原 伸彦
茨城カウンセリングセンター副理事長

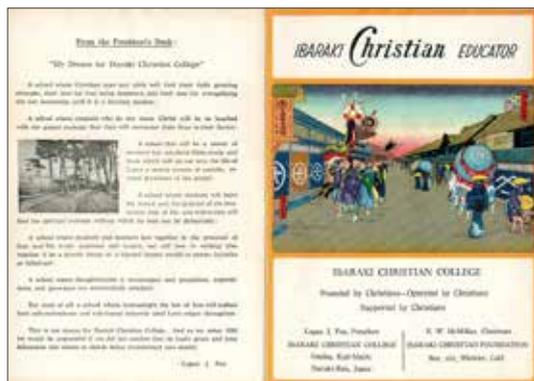
우리가 学園の理想

1955年総長の時、ローガンが海外の支援者向けの小冊子「IBARAKI Christian Educator」で発表したのが「My Dream for Ibaraki Christian College(我が学園の理想)」。

この中では「神への熱い思い」や「真理の探究」への強烈に前向きな姿勢が謳われている。極めつけは「愛がすべてを支配する学園でありたい」という情熱的なメッセージが語られており、学園がどれほど愛によって作られ成長してきたかを今も実感させる。

ローガン先生は私にとって恩人。高3の夏休みに友人の勧めで日立・初崎海岸で開催された野外伝道会に参加した。キリスト教のことはよく知らなかったが、ローガン先生のお話を聞いているうちに「あ、これだ。これに従おう。」と感じて、その後洗礼を受けることに。先生のお話に人生の指針を与えていただいたと信じている。

—— 鈴木 千里
元聖見幼稚園園長(70周年インタビューより)



茨城キリスト教・エデュケーターに掲載された「我が学園の理想」(1955年)



略歴

- 1922年: キリスト教の宣教師ハリー・ファックスSr.の次男として東京で生まれる
- 1935年: アメリカに帰国(父の腰痛のため帰国し、日米関係悪化で再入国が叶わなかった)
- 1946年: ペパダイン大学卒業(専攻:宗教学)
- 1947年: シカゴ大学大学院にて、心理学の修士号を取得
ペパダイン大学にて教育学と心理学の講師として勤務
- 1949年: シオンカレッジ(茨城キリスト教学園短期大学)初代学長に就任
- 1952年: 学園第2代総長に就任(1961年まで)
- 1955年: 第1回夏期カウンセリング講習会開催(以降14回開催)
- 1999年: 日立市より特別名誉市民の称号を贈られる
- 2010年: ローガンファックス記念講堂改修竣工。特別奨励を行う
- 2023年3月24日 ワシントン州にて100歳の生涯を閉じる



みなさん、心の声に耳を傾け、夢を追いかけよう。
そうすれば、あなたの人生はとてもエキサイティングな冒険となるでしょう。
ローガン・J・ファックス 学園70周年に寄せたメッセージより



大学 ひたち鯖魅力向上プロジェクト さばらい's



今年、JRグループが開催する茨城DC(テストステーションキャンペーン)への参画を目指し、産学官連携「ひたち鯖魅力向上プロジェクト-さばらい's」を立ち上げました。鯖の漁獲量1位が茨城県であること、そして日立市で獲れる鯖をアピールするため学生がメニューを開発。3月末に行ったマルシェでのプレ販売は見事完売となり、幸先良いスタートを切っています。



ホットピックスでは学園や各設置校のイベント活動を紹介しています。



学園 初任者とアーティストがやってきた！

本格的な春の訪れが感じられた 4月1日、キアラ館礼拝堂で初任者礼拝・辞令交付式が行われ、今年度は新たな仲間として32名の教職員を迎えることができました。後日、そのキアラ館を陶芸家・陶立体アーティストの田崎太郎さんが「仔猫神」を連れて訪れてくれました。その愛らしさ！1度見たら忘れられませんよ。



高等学校 校外研修に行ってきました！

4月25日(火)に高校1年生はつくば方面に校外研修に行ってきました。午前中は全クラス「つくばエキスポセンター」、午後はクラス毎で「食と農の科学館」や「国土地理院」等の各場所に別れて研修をおこなってきました。天気にも恵まれ、クラスの輪も深まる良いイベントとなりました。



中学校 体育祭を実施しました！

新型コロナウイルス対応のため、2019年以来実施を見送った体育祭。昨年度は競技数を絞って行いましたが、今年はコロナ前の規模に戻して実施できました。当日は好天に恵まれ、絶好のコンディションで行うことが出来ました。生徒の生き生きとした姿があちこちに見られました。



こども園 2023年度が始まりました！

新生活がスタートしました。入園児・進級児共に元気いっぱい遊び、喜びの声が園内に響いています。2023年度より「グローバル教育コーディネーター」として、新たな立場の先生を迎えました。3月までウクライナからの留学生として大学に在籍していたイリヨマルタさんです。先生と一緒に遊んだり、絵本を読んでもらったりして多言語や異文化に触れ、グローバルな感覚を身につけていきます。今年一年、たくさんの、経験を積み重ね、豊かな一年になることでしょう。



今回は学園の創設・発展に大きく寄与してくださったローガン・J・ファックス先生の足跡をたどりました。5月10日にはキアラ館礼拝堂で追悼礼拝を執り行い、小川日立市長をはじめ多くの方にご参列いただきました。ローガン先生が、教育機関としての学園はもとより、学園創設の心・精神を様々な活動や発信を通して築き上げ、強固なものとし、今に残してくださったことに思いを馳せ、あらためて深く感謝したいと思います。私たちは先生の愛の教えを、これからも大切にしていきます。

昨年、学園からの100歳のお祝いの返信に、ビデオメッセージをいただきました。

memories, memories, memories... 大みかで過ごした年月を思い起こします。

たくさんの思い出たちが次から次へと押し寄せてきて、なつかしさで胸がいっぱいになります。

ローガン先生、有難うございました。

(2023/05/19)

